

一般廃棄物処理施設整備に係る
生活環境影響調査説明会
開催結果報告書

令和2年10月

能代山本広域市町村圏組合

目 次

1	説明会の開催概要	1
(1)	説明会開催日時・場所	1
(2)	出席者	1
(3)	説明資料	2
(4)	説明会の内容	2
2	質疑応答の概要	3

1 説明会の開催概要

(1) 説明会開催日時・場所

	開催日時	場 所
第1回	令和2年10月21日(水) 18:30~19:30	竹生自治会館
第2回	令和2年10月22日(木) 18:30~19:00	沼田公民館

(2) 出席者

ア 関係住民等

第1回：17名

第2回：14名

イ 説明者

	説明者
第1回	能代山本広域市町村圏組合 環境衛生課 課長 安宅恒晴 係長 若皆忠弘 主任 石田一貴 能代市環境産業部 環境衛生課清掃係 係長 大山徳穂 主席主査 安井大樹 八千代エンジニアリング株式会社 課長 村山拓也 青柳拓実 戸田賢太郎 小林健一 金田聖輝
第2回	能代山本広域市町村圏組合 環境衛生課 課長 安宅恒晴 係長 若皆忠弘 主任 石田一貴

	八千代エンジニアリング株式会社
--	-----------------

	課長
--	----

	村山拓也
--	------

	青柳拓実
--	------

	戸田賢太郎
--	-------

	小林健一
--	------

	金田聖輝
--	------

(3) 説明資料

ア 配付資料

- ・一般廃棄物処理施設整備に係る生活環境影響調査説明会

(4) 説明会の内容

ア 開会

イ 事業計画及び生活環境影響調査書の概要説明

ウ 質疑応答

2 質疑応答の概要

【第1回：令和2年10月22日（水）】

質 問	回 答
<p>関東地方では以前にダイオキシン類の風評被害等の事例があったが、この施設ではダイオキシン類については大丈夫なのか。</p>	<p>土壌に蓄積するダイオキシン類の濃度について、30年間蓄積する場合の予測・評価結果は環境基準が1,000pg-TEQ/gであるのに対して5.55pg-TEQ/gと予測されており、問題のない値となっている。</p>
<p>この地域は農家が多く、ダイオキシン類で風評被害が出た場合、どのような対策をするのか。</p>	<p>土壌の場合、ダイオキシン濃度について年に1回など継続して調査を行い、基準を満足しているかを確認するといった対応になる。</p> <p>必要な項目について、各自治体等と協議し、調査項目、調査頻度等を事前に話し合っ決めていくことになる。</p> <p>施設から排出されるダイオキシン類は法律により厳しい対策をしている。特別措置法で、基準を満足する必要がある。</p> <p>また、ダイオキシンの発生メカニズムもかなり解明されており、温度の問題等、施設も十分に対応できるものとなっており、心配はないと考える。万が一の場合は、調査して対応する必要がある。</p>
<p>今回適応されている環境基準は、いつ頃に定められた基準であり、今後またどのように変化していくのか教えていただきたい。アスベストのように、年々法律が更新されているものもある。</p>	<p>例えば大気質については、昭和47、48年頃に国から定められたものである。基準値の見直し等も進んでいるが、健康上問題のない値として定められているもので、それ以上基準値が厳しくなっていない。</p> <p>ダイオキシン類は平成12年頃、水銀については指針値が設定されている。また、国としては現在決められている物質以外にも、優先取組物質として監視を行い、必要となれば環境基準を設定している状況である。</p> <p>状況により環境基準は厳しくなる可能性はあるが、現状としては現在定められている基準</p>

質 問	回 答
	<p>で心配はいらない。本事業は、県内及び近年の施設を十分考慮したうえで基準を採用しており、法規制よりも厳しい公害防止基準を設定して事業を進めていくつもりである。</p>
<p>単に基準をクリアしているからというのではなく、現状の北部粗大ごみ処理工場と同一の基準となる施設づくりをしてほしい。</p>	<p>北部処理工場では臭気があったことも把握している。現在では技術も進歩しており、クリーンプラザ横手では臭気の問題はなかった。影響はゼロにならないが、皆様の生活環境に影響はないと考えている。</p>
<p>収集車が処理場に入っていく道路は十分であるのか。また、収集車からごみの液体の漏れ等も懸念され、排ガス、臭気対策としても車両の整備や更新を徹底してほしい。</p>	<p>収集車の台数を全て把握しており、実施した交通量調査結果に収集車両台数を足した騒音・振動予測結果は、基準値を満足している。</p> <p>また、国道 101 号に面した施設の出入口付近を拡幅する計画があり、収集車の出入りがスムーズになるようにする。</p>
<p>収集車は一日何台ほど往復するのか。</p>	<p>現在の南部清掃工場と北部粗大ごみ処理工場の 2 施設に運び込まれていたごみが搬入されることになる。想定される収集者等の搬入台数については、平成 30 年度の実績からすると 1 日平均 88 台が見込まれる。</p>
<p>収集車の走行経路、国道 101 号線で事故渋滞が発生した場合の迂回路等について詳しく教えてほしい。</p>	<p>市で委託している業者に限りませんが、基本的には国道 101 号を走行するように指導するが、道路が事故等により渋滞している場合等については、なるべく 1 車線の道路は走行せず 2 車線の道路を走行するよう指導を行っている。具体的には、県道 63 号常盤峰浜線を通るルートが想定される。そこから須田に向かう道路を使用したり、八峰中学校を經由して沼田に向かう道路を使用することになると思う。</p>
<p>建設地の近隣に田んぼを所有していることもあり、道路拡幅等の工事スケジュール、特に排水側溝関係等についても早めに教えていた</p>	<p>事業の進捗状況に合わせ、適宜説明をさせていただきます。</p>

質 問	回 答
<p>だきたい。</p>	
<p>台風や地震等の災害時、停電発生時に臭気の漏洩等、様々な問題が発生しないか心配であるので、十分配慮してほしい。</p>	<p>新しい施設はごみの焼却で発生する熱を利用して発電を行い、発電で得られた電力で施設を稼働させる。そのため、停電発生時においても施設内で発電させた電力でごみ処理を継続することが可能である。</p> <p>また、震度6強、震度7の地震に対応した耐震性能をそなえた施設を建設する計画であり、地震についても問題はないと考える。</p>
<p>計画地は能代断層の上にあると思うが、大地震の可能性を考慮して設計されているのか。</p>	<p>活断層の存在について把握しており、計画に反映する予定である。来年以降、事業者が設計を行うにあたり、ハザードマップの急傾斜地や断層の情報を提供し、設計の条件について検討する予定である。</p>

【第2回：令和2年10月22日（木）】

質 問	回 答
<p>工事はいつ頃から開始されるのか。</p>	<p>令和2・3年度で事業者の選定を行い、実際の工事開始は令和4年4月頃を予定している。</p>
<p>予測の数値は、実際の値に近いものなのか。</p>	<p>環境への影響が最大になる条件を想定して予測を行っている。そのため、例えば施設の機器が全て同時に稼働するといった条件で得られた予測結果に対し、実際に全ての機器が同時に稼働することは稀であるため、予測結果よりも実際の値は小さくなる。</p> <p>このように、安全側に余裕をもって値が予測されているため、実際には予測値より影響は小さいものとなる。</p>